

令和8年2月10日

印西市定例記者会見



本日の内容

- 令和7年度印西市一般会計補正予算(案)
- 経営ビジョンと第2次基本計画
- 令和8年度印西市一般会計当初予算(案)
- 個別事業紹介
- お知らせ

令和7年度

印西市一般会計補正予算(案)

令和7年度印西市一般会計補正予算(案)



主な内容

- プレミアム付デジタル商品券事業【経済振興課】
- 民間保育園の保育委託に関する経費【保育幼稚園課】

問い合わせ先 財政課財政係 ☎0476-33-4424

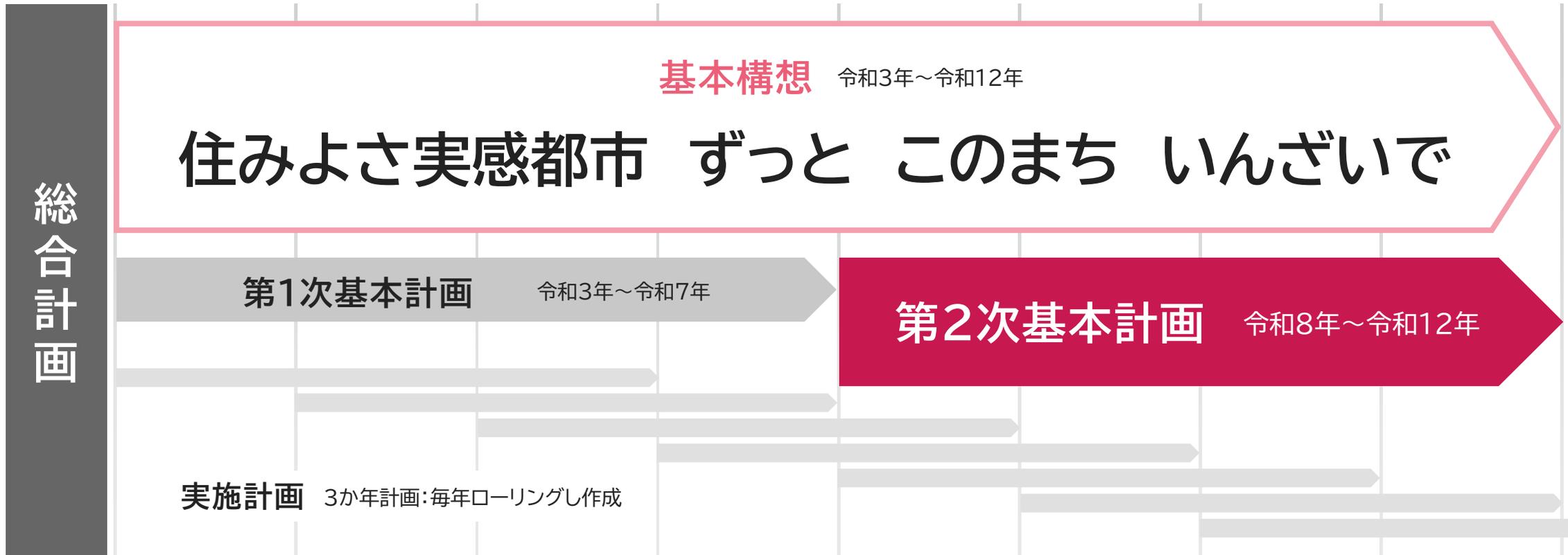
令和8年度当初予算編成に向けて

経営ビジョンと第2次基本計画

第2次基本計画とは

印西市総合計画を構成する第1次基本計画の期間が満了し、第2次基本計画が始まります。

第2次基本計画は、これまでの行政管理型から経営型によるまちづくりに転換するとともに、まちの在り方と市役所の役割をあらためて整理し、将来都市像の達成を目指す総合計画の後期5年間の計画です。



印西市にとって令和8年とは

市制施行30周年 キャッチフレーズとロゴマーク

ともに歩んだ30年、ともに創るその先へ





第2次基本計画 経営型による行政運営の開始

第2次基本計画は、現在そして、これから起こりうる課題に対応するため、これまでの行政管理型から経営型の行政運営に転換。将来都市像の実現に向けた、令和8年度からの5か年計画です。

これまで

行政管理型

決められた方向性のもとで、
政策を着実に進める

これから(第2次基本計画)

経営型

目指す方向を自ら定め、
限られた資源を戦略的に活用



将来都市像を達成するための経営ビジョンを設定

～経営ビジョン～

「緑育職住」近接の、未来都市。

里山・都市・人がゆるやかにつながる、
健やかな未来の暮らしへ。

～経営ビジョン文～

都心や世界の玄関にも近く、豊かな日本の自然があふれる里山のまち、印西市。

この自然と都市生活が共存する恵まれた環境を生かし、

「職住」近接を超えた「緑育職住」のまちづくりで

人と自然と都市がつながり合う、心地よい暮らしを生み出していきます。

土と緑のすぐそばで、まなび、はたらき、家族の近くで健やかに生きていく。

そんな人間的な幸せを持続する、世界モデルの未来都市を実現します。



経営型への転換と8つの基本目標の位置づけ

人口減少や価値観の多様化、地域コミュニティの変化、都市間競争の激化など、本市を取り巻く社会環境は大きく変化しています。第2次基本計画では、こうした状況を踏まえ、まちの在り方を考える「都市経営」と、それを支える市役所の在り方を考える「行政経営」の両面から、8つの基本目標を整理しています。

都市経営 どのような印西市を目指すのか？

- 1 子育て・教育
- 2 職住近接
- 3 都市と自然の調和
- 4 安全・安心なまち
- 5 多極・循環型のまち

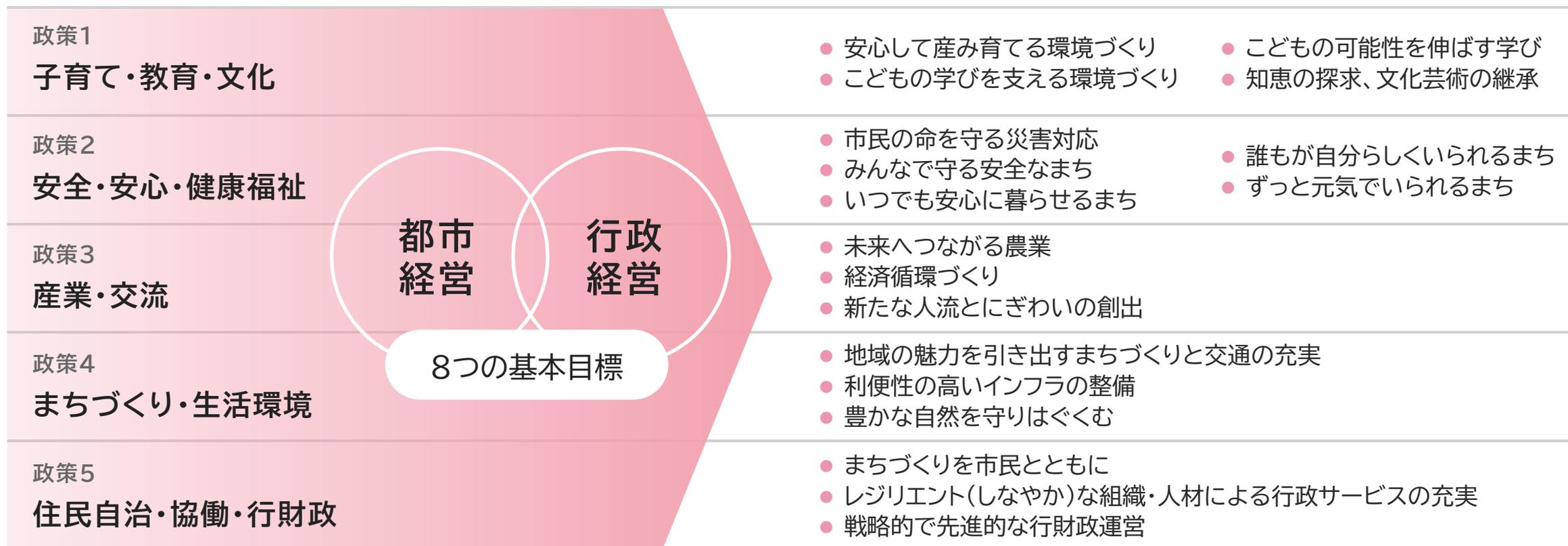
行政経営 どのような市役所を目指すのか？

- 6 市民参画/公民連携
- 7 組織・人事改革
- 8 行財政改革



将来都市像を実現するための基本目標と取組の方向性

第2次基本計画では、都市経営と行政経営の2つの視点から、8つの基本目標と取組の方向性を整理しています。将来都市像の実現に向け、この基本目標と政策が示す具体的な方向性は、予算計画案における取組の整理の基礎となるものです。



令和8年度

印西市一般会計当初予算(案)



令和8年度印西市一般会計当初予算(案)

～予算テーマ～

ともに創る 次の30年へ

—「緑育職住」近接の、未来都市。—

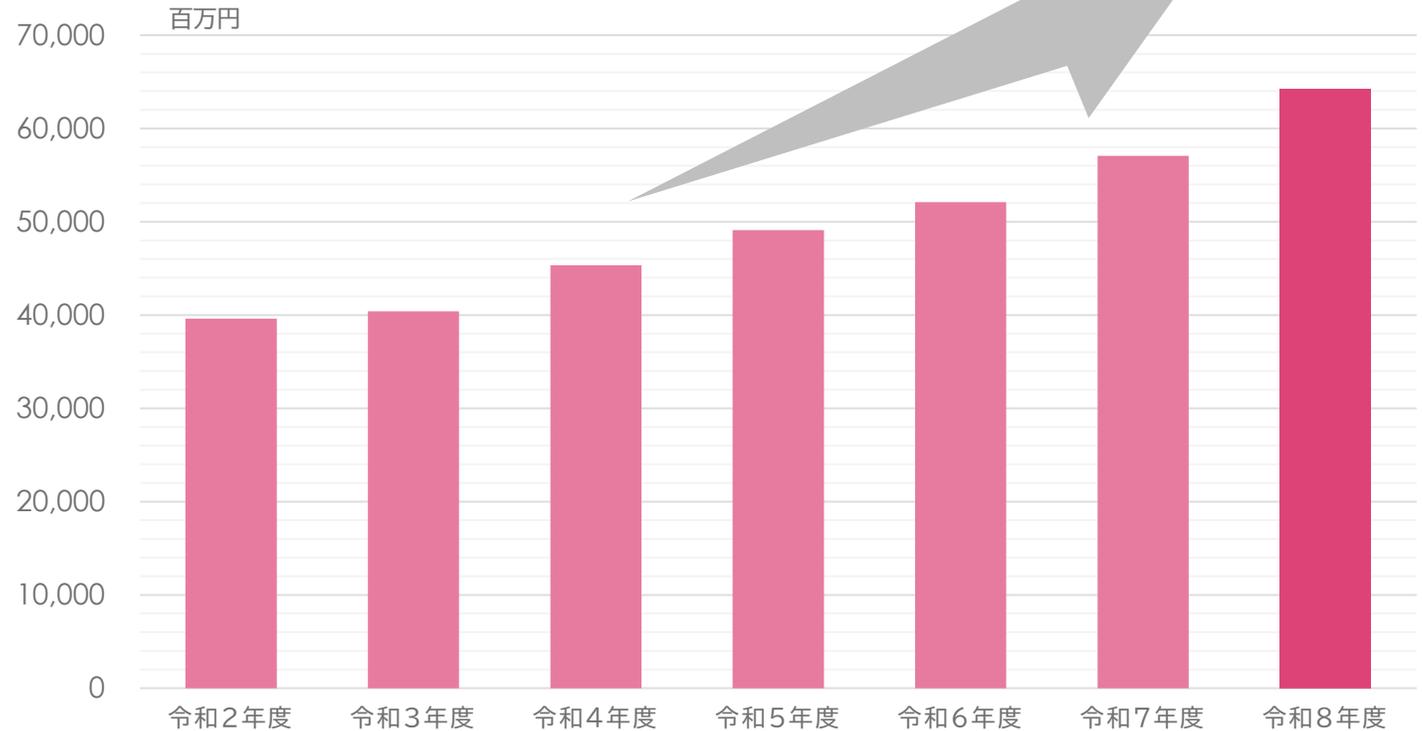
当初予算規模の推移(一般会計)

一般会計予算は

9年連続増で

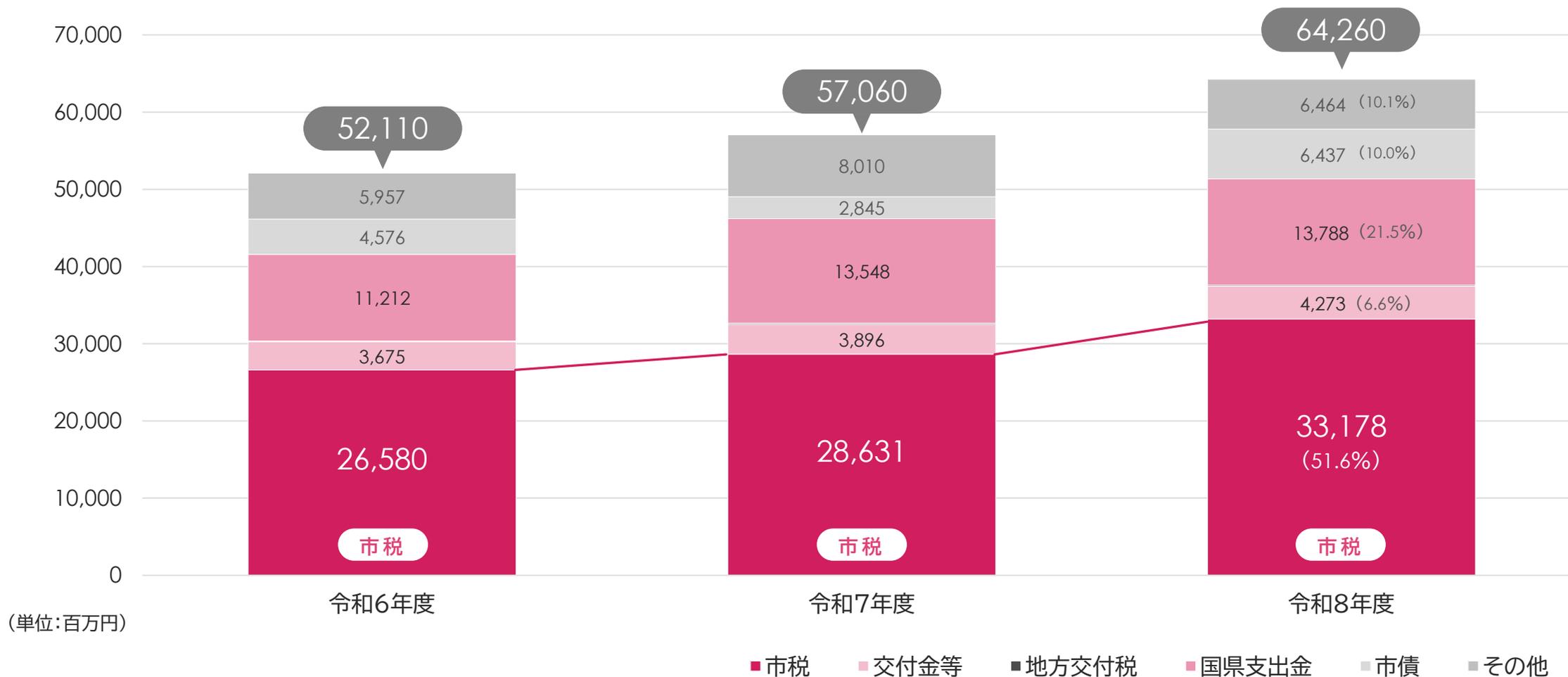
過去最大

642億6,000万円を計上



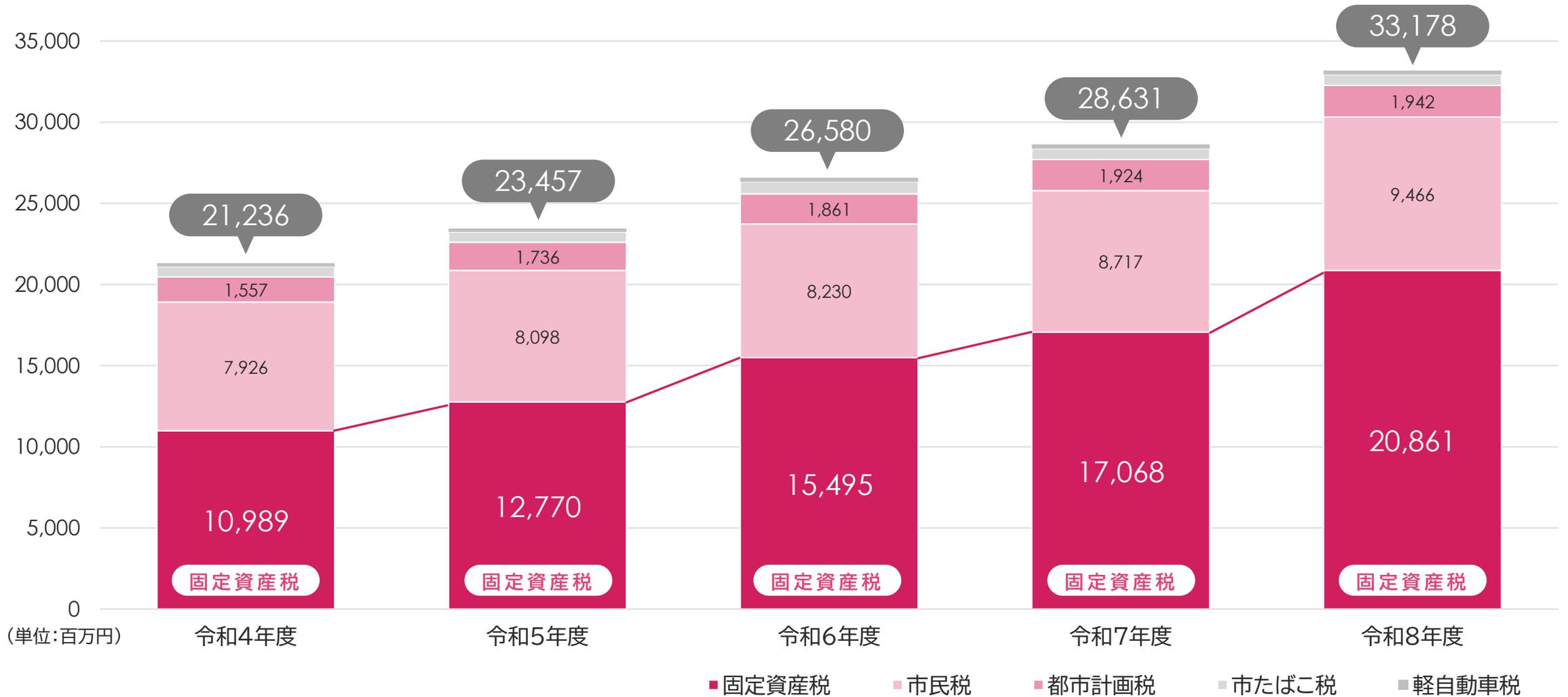
当初予算額 (百万円)	39,630	40,410	45,320	49,120	52,110	57,060	64,260
伸び率 (%)	7.8	2.0	12.2	8.4	6.1	9.5	12.6

予算規模の推移(歳入)

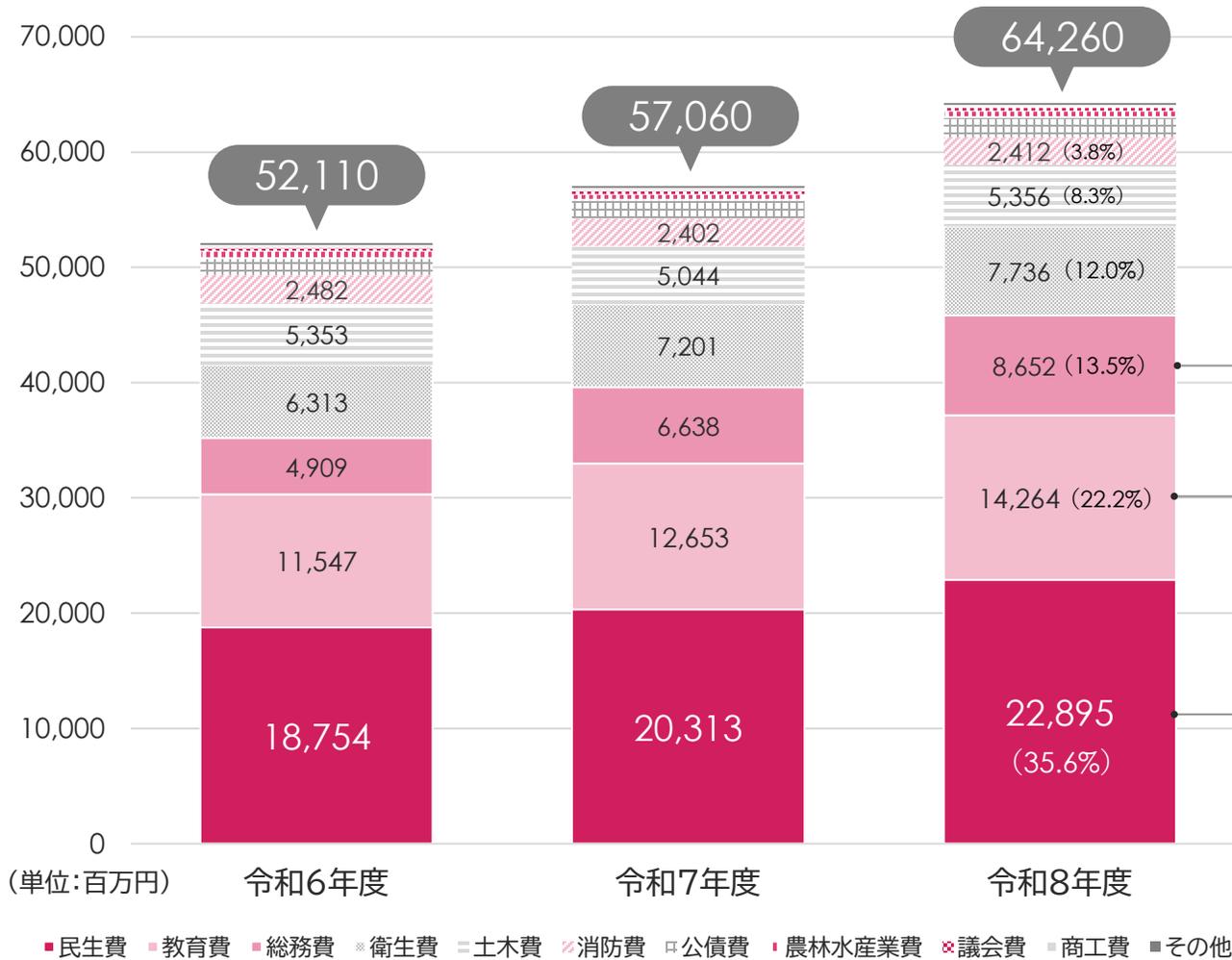


その他: 分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金及び諸収入

予算規模の推移(市税)



予算規模の推移(歳出:目的別)



主要増加要因

公共施設の改修経費の増加
教育・子育て関連経費の増加

総務費

- ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(+16.5億円) など

教育費

- 小倉台図書館の保全改修工事(+3.5億円)
- 校務DX推進事業(+3.3億円)
- 中央学校給食センター事業(+1.5億円)
- 学びの変革事業(+1.4億円) など

民生費

- 総合福祉センターの改修工事(+13.7億円)
- 障害者自立支援給付事業(+6.3億円)
- 民間保育園の保育委託経費(+4.4億円)など

令和8年度当初予算(案)

個別事業紹介

政策 1 子育て・教育・文化

第2次基本計画 施策1-1

安心して産み育てる環境づくり

新規 0歳6カ月～3歳未満 こども誰でも通園制度を開始

新規 千葉ニュータウン中央駅前に送迎保育ステーションを開設

拡充 こどもたちの「おいしい」を守る 給食費(私立保育園・幼稚園)への支援を強化

拡充 共育てを応援します「パパが主役」の子育て事業を開始

新規 こども食堂を支援 地域におけるこどもの居場所づくりの推進

拡充 多様な学習機会と居場所づくりの支援 フリースクール利用へ補助を開始

新規 放課後も、安心して過ごせる場所を

拡充 学童クラブを増設

第2次基本計画 施策1-3

こどもの学びを支える環境づくり

新規 全ての児童に放課後の居場所をアフタースクール事業をモデル導入

拡充 コミュニティ・スクールを導入

新規 (仮称)東の原義務教育学校の開校を準備

拡充 小・中学校体育館への空調設備の導入促進

拡充 児童生徒への通学支援を拡充 スクールバスを増便

第2次基本計画 施策1-2

こどもの可能性を伸ばす学び

拡充 学校内外をつなぐデジタル教育の拠点を整備

拡充 次世代の教育モデルを実施 ロボッチャ®を全校へ導入

拡充 支援学級等における指導員・支援員を増員

拡充 世界とつながる力を育む 国際理解教育を強化



新規

0歳6カ月～3歳未満 こども誰でも通園制度を開始

8,517 千円

保育所等に通園していないこどもを対象に、就労等の理由を問わず時間単位で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」が全国でスタートします。

印西市では、公立の木刈保育園で実施するほか、民間保育園、地域子育て支援拠点事業所、認可外保育施設などでも実施予定です。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 「こども誰でも通園制度」を木刈保育園で実施 運営に要する経費(研修旅費・消耗品・保険料など) 273千円 誰でも通園制度を実施する民間保育園へ補助 8,244千円
対象	市内に住所を有する保育所等に通園していない0歳6か月以上満3歳未満の児童
開始時期	令和8年4月1日(予定)
問い合わせ	保育幼稚園課計画管理係 ☎0476-33-4649

こども誰でも
通園制度



市ホームページ

こども誰でも通園制度ページ

第2次基本計画 施策1-1 安心して産み育てる環境づくり



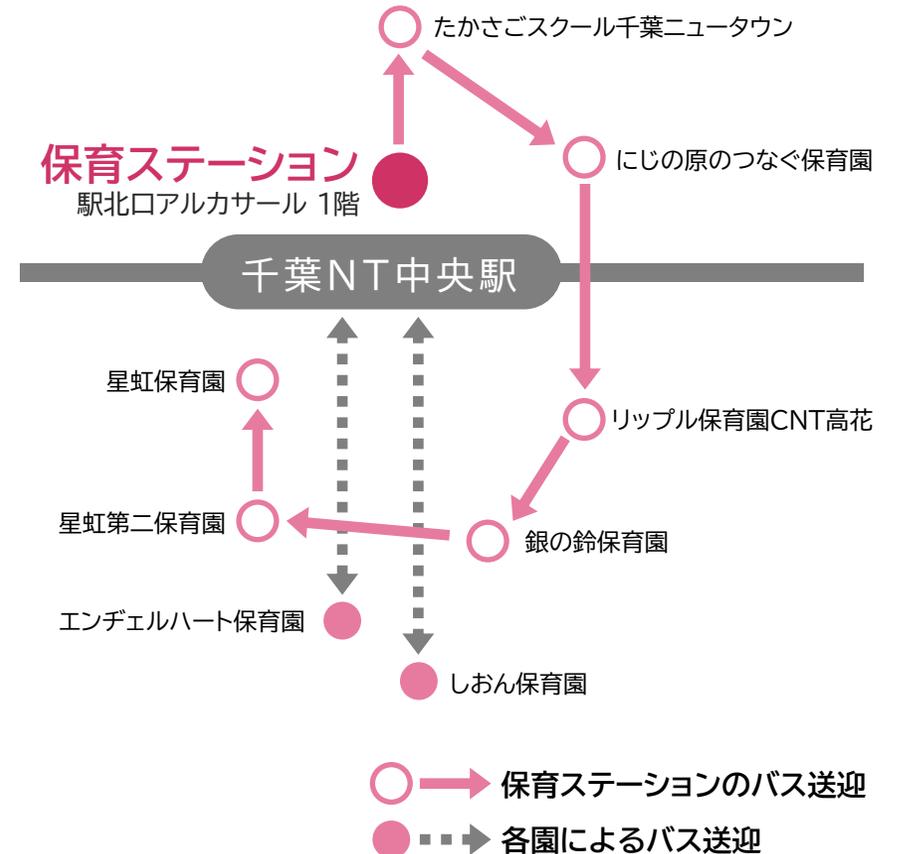
新規

千葉ニュータウン中央駅前に送迎保育ステーションを開設

37,264 千円

育児と仕事の両立を支援する「送迎保育ステーション事業」を開設。通勤に便利な駅前等を拠点に、お子さんを一時的にお預かりし、各保育所まで専用バスで送迎することで、保護者の送迎にかかる時間的・物理的な負担の解消を支援します。

主な内容	千葉ニュータウン中央駅圏における送迎保育ステーション事業運営業務委託
対象	印西市内に居住し、印西市内の保育所等に在籍している満2歳以上の児童
開始時期	令和8年4月1日(予定)
問い合わせ	保育幼稚園課計画管理係 ☎0476-33-4649



第2次基本計画 施策1-1 安心して産み育てる環境づくり



拡充

こどもたちの「おいしい」を守る 給食費(民間保育園等)への支援を強化

112,839 千円

+54,147千円

物価高対策として、市内の民間保育園等を対象に給食費への支援を拡大。給食の質を維持することはもちろん、保護者への費用負担の転嫁を抑え、各園の安定した運営を支えています。

主な内容	各園の給食材料費を補助することで、食材費高騰分の負担を軽減する。 保育所費 89,301千円 幼稚園費 23,538千円
開始時期	令和8年4月(予定)
対象	民間保育所、認定こども園、小規模保育事業所、民間幼稚園
問い合わせ	保育幼稚園課指導給付係 ☎0476-33-4603



第2次基本計画 施策1-1 安心して産み育てる環境づくり



拡充

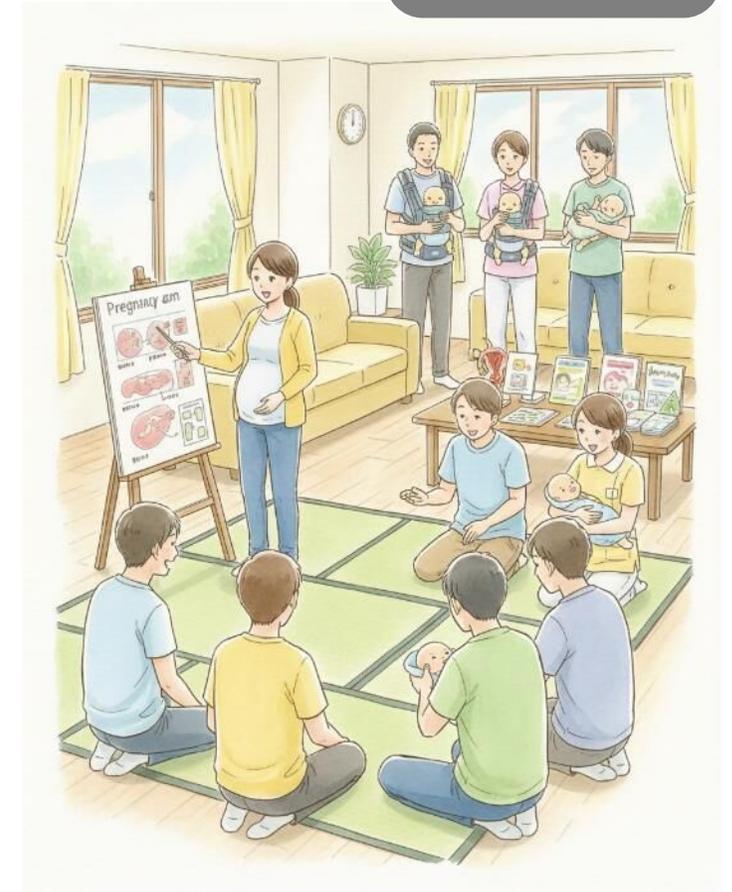
子育てを応援します 「パパが主役」の子育て事業を開始

2,975 千円

+ 2,044 千円

男女がともに主体的に子育てをし、ワークライフバランスを図りながら子育てのできる社会の実現に向け、年4回の父親を対象とした子育て講座を中心に、手帳の作成やイベントの企画運営を実施します。

主な内容	父親を対象とした子育て講座の開催(年4回) パパの子育て応援手帳(父子健康手帳)の作成・発行 親子で楽しむ子育てイベントの企画運営
開始時期	令和8年9月(予定)
対象	市内在住の妊娠期～未就学児の父親及び母親
問い合わせ	子育て支援課支援係 ☎0476-33-4640



第2次基本計画 施策1-1 安心して産み育てる環境づくり



新規

こども食堂を支援 地域におけるこどもの居場所づくりの推進

4,200 千円

こども食堂をはじめ、地域でこどもの居場所づくりに取り組む団体に「こどもの居場所づくり支援補助金」を交付。既存団体の活動を支え、新たな団体の立ち上げを後押しすることで、こどもたちが安心して過ごせる居場所を増やします。

<p>主な内容</p>	<p>こどもの居場所づくり支援補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規開設補助 団体立ち上げ時の初期費用を補助(上限50万円) ● 整備補助 施設の改修や備品の購入など、環境整備の費用を補助(上限5万円) ● 運営補助 会場費や材料費など、継続的な活動に必要な運営経費を補助(月額上限1万円)
<p>対象</p>	<p>こども食堂を含むこどもの居場所を提供することを目的に活動している団体</p>
<p>開始時期</p>	<p>令和8年4月(予定)</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>子育て支援課支援係 ☎0476-33-4640</p>



第2次基本計画 施策1-1 安心して産み育てる環境づくり



拡充

多様な学習機会と居場所づくりの支援 フリースクール利用へ補助を開始

27,000 千円

+27,000千円

学校以外の学びの選択肢を確保し、子どもや保護者が安心して学び続けられる環境を支えていくために、令和7年に開始した不登校児童支援施設への支援に加え、さらなる支援として支援施設の利用者に対しても補助を開始します。

主な内容	民間不登校児童生徒支援施設利用者補助金 ● 施設利用者補助金【新規】 2万円 × 12カ月 × 100人 ● 施設運営事業費補助金 100万円 × 3施設
対象	市内在住で、在籍する学校への登校が困難な児童生徒の保護者 市内に開設された民間不登校児童生徒支援施設を運営する者
開始時期	令和8年4月(予定)
問い合わせ	生涯学習課放課後児童支援係 ☎0476-33-4729



第2次基本計画 施策1-1 安心して産み育てる環境づくり



新規
拡充

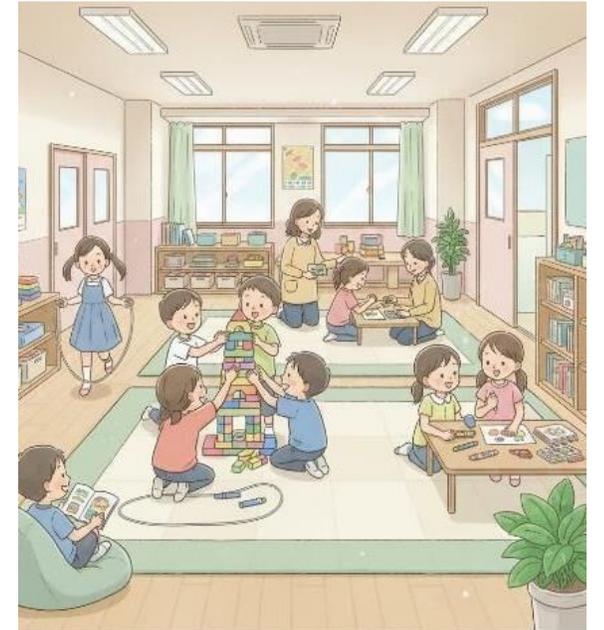
放課後も、安心して過ごせる場所を 学童クラブを増設

55,776 千円

+28,033千円

放課後の居場所の一つとなる学童クラブの不足を解消するため、牧の原・滝野地区と原山地区への学童クラブの整備をすすめます。これにより、合計160人分の定員を新たに確保し、待機児童の解消につなげます。

主な内容	学童クラブ施設整備事業 新設工事への補助 53,132千円 牧の原・滝野地区に民間学童クラブ(定員80人)が新設されることへの補助	(仮称)原山第2学童クラブ整備事業 新設工事費 2,644千円 (R8～R9継続費188,661千円) 学童クラブ(定員80人)が新設するための経費
開所時期	令和9年4月(予定)	令和10年4月(予定)
問い合わせ	生涯学習課放課後児童支援係 ☎0476-33-4729	



第2次基本計画 施策1-1 安心して産み育てる環境づくり



新規

全ての児童に放課後の居場所を アフタースクール事業をモデル導入

16,116 千円

児童が安全・安心な環境で過ごせる放課後の居場所づくりを推進するため、「アフタースクール」を新たに導入します。放課後子ども教室とも連携を図り、運営方法などを検証した上で、市内全域への展開を目指します。

<p>主な内容</p>	<p>アフタースクール事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 居場所の提供: 児童の見守り支援 ● 体験プログラム: 児童に多様な体験・活動の機会を提供 工作・制作、季節行事・イベント、昔遊び、英語、運動・スポーツなど ● 継続プログラム: 習い事などに相当する継続的な学びの機会を提供 サッカー、ダンス、体操、かけっこ、英語、プログラミング、科学実験など
<p>対象</p>	<p>滝野小学校、牧の原小学校</p>
<p>開始時期</p>	<p>令和9年1月(予定)</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>生涯学習課放課後児童支援係 ☎0476-33-4729</p>



第2次基本計画 施策1-3 こどもの学びを支える環境づくり



拡充

コミュニティ・スクールを導入

2,967 千円

+2,967千円

学校と地域がパートナーとなり、一体で子どもを育む「コミュニティ・スクール」を拡大します。既存の印西中学校学校区(一部含む)に加え、新たに3つの中学校区と1つの小学校に学校運営協議会を設置。地域とともに、特色ある魅力的な学校づくりを進めます。

主な内容	<p>学校運営協議会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存の印西中学校学校区に加え、木刈中学校区、原山中学校区、印旛中学校区、船穂小学校に新たに設置
開始時期	令和8年4月
問い合わせ	生涯学習課推進係 ☎0476-33-4713



第2次基本計画 施策1-3 こどもの学びを支える環境づくり

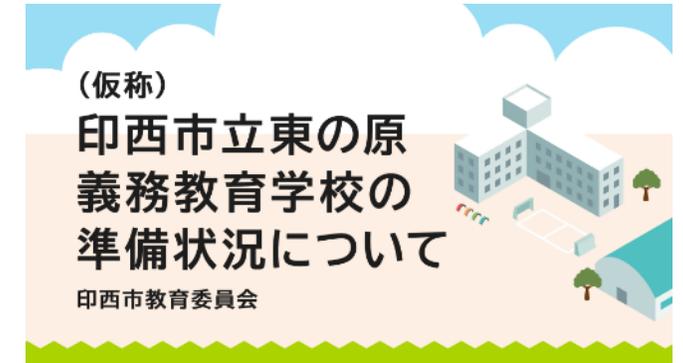


新規

(仮称)東の原義務教育学校の開校を準備

53,007 千円

(仮称)東の原義務教育学校の令和11年度の開校を目指し、施設整備に着手します。小学校と中学校の9年間を一体的に捉えた特色ある教育を行うための、安全で機能的な施設整備を着実に進めていきます。



Youtubeで準備状況の説明動画を公開中

<p>主な内容</p>	<p>(仮称)東の原義務教育学校の施設整備をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和8年度末に、設計を完了予定 ● 令和8年度中に、用地取得予定 ● 開校準備委員会を設置 <p>メンバーは、小中学校の教員や、保護者、地域、教育委員会を予定</p>
<p>時期</p>	<p>令和11年度開校予定</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>教育総務課学校新設準備室 ☎0476-33-4150</p>

第2次基本計画 施策1-3 こどもの学びを支える環境づくり



拡充

小・中学校の体育館への空調設備導入を促進

510,860 千円

+495,460千円

児童生徒の学習環境の向上を図るため、小・中学校の体育館への空調設備導入を段階的に進めます。より良い教育環境の整備に努めます。

主な内容	中学校3校の体育館への空調設置工事 R8年度 377,760千円 R9年度 108,540千円	体育館空調設備設置工事実施設計業務 ● 小学校 102,850千円 ● 中学校 30,250千円
対象	木刈中学校、原山中学校、印旛中学校	小学校17校、中学校5校
工期	設計:令和9年2月(予定) 工事:令和9年9月(予定)	
問い合わせ	教育総務課整備係 ☎0476-33-4150	



印西中学校屋内運動場



いには野小学校屋内運動場

第2次基本計画 施策1-3 こどもの学びを支える環境づくり



拡充

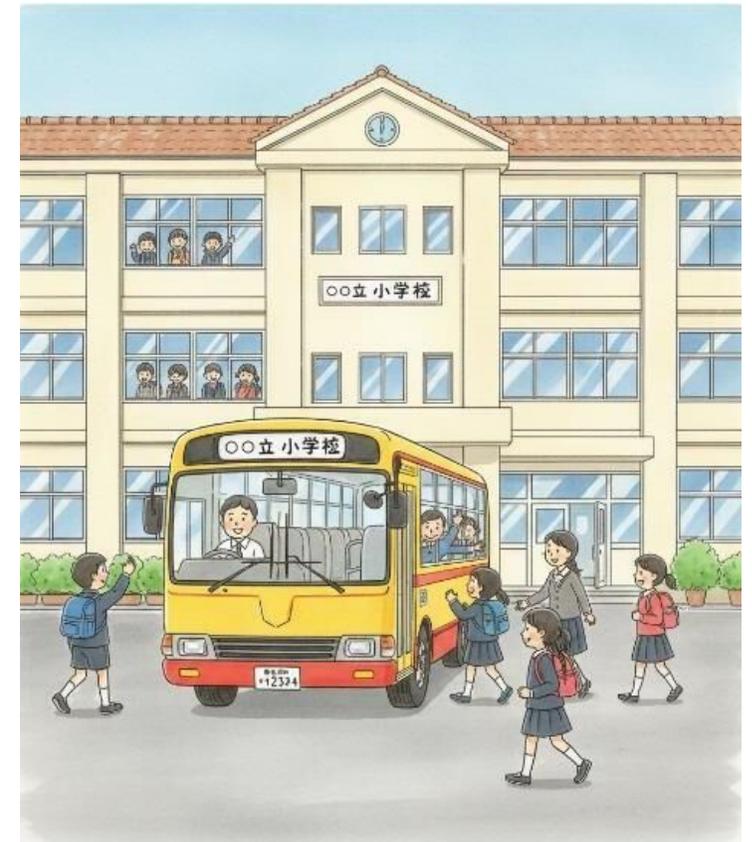
児童生徒への通学支援を拡充 スクールバスを増便

183,252 千円

+45,495千円

こどもたちの安全な通学を守るため、通学支援を拡充します。小学校では、スクールバスを2台増便し、路線バスで通学する児童生徒には、定期代の補助を実施し、こどもたちが安全に通学できる環境を整えます。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバス16路線、運行台数16台(2台増) スクールバスの運行に要する経費 181,338千円 ● 定期乗車券費用の補助 1,620千円
対象校	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバス…六合小学校、本埜小学校、木刈小学校、高花小学校、いには野小学校、木下小学校、大森小学校 ● 定期乗車券費用の補助…全小中学校
開始時期	令和8年4月(予定)
問い合わせ	学務課学務係 ☎0476-33-4704



第2次基本計画 施策1-3 こどもの学びを支える環境づくり



拡充

学校内外をつなぐデジタル教育の拠点を整備

328,552 千円

+ 328,552 千円

GIGAスクール第2期に合わせ、教育用端末の更新やICT支援体制の充実、校内外ネットワークを整備。ハード・ソフト調達やゼロトラスト環境構築を一体的に行い、学習データの活用と安全な学習環境の検討を進めます。

主な内容	校務DX推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 第2期GIGAスクールに伴う教育用パソコン賃貸借 R8年度 98,395千円 ● 小中学校ICT支援員業務委託 R8年度 59,418千円
対象	市内小中学校
開始時期	令和8年4月～
問い合わせ	指導課教育情報推進係 ☎0476-33-5692



第2次基本計画 施策1-2 こどもの可能性を伸ばす学び



拡充

次世代の教育モデルを実施 ロボッチャ®を全校へ導入

143,608 千円

+143,608千円

日本で最も進んだデジタル教育の提供を目指し、情報の活用とデジタルシティズンシップを土台にSTEAMを統合的に学ぶ先進的な情報教育カリキュラムを実施します。

主な内容	<p>ロボティクス教育 レゴで組み立てたロボットをプログラミングで操り、パラスポーツのボッチャを行う「ロボッチャ®」を全27校に導入</p> <p>生成AIは「学びの伴走者」 個別最適な学びを拡充 令和7年度のパイロット校事業に全国最多の14校が採択。これら先行校で得られた成果を市全体に共有する</p>
対象	ロボティクス教材、生成AIともに小学3～中学3年生
開始時期	令和8年9月(予定)
問い合わせ	指導課教育情報推進係 ☎0476-33-4692



第2次基本計画 施策1-2 こどもの可能性を伸ばす学び



拡充

支援学級等における指導員・支援員を増員

386,188 千円

+119,360千円

特別な支援が必要な児童生徒や日本語の学習に支援が必要な児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、指導員・支援員を大幅に増員します。新たに18人を配置し、一人ひとりへ、きめ細かな教育支援の体制を整えます。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導員や支援員を増員 <ul style="list-style-type: none"> 支援員 55人(R7) + 11人(R8) = 66人 学習指導員 66人(R7) + 4人(R8) = 70人 日本語指導員 11人(R7) + 3人(R8) = 14人
対象校	市内小学校(18校)、中学校(9校)
開始時期	令和8年4月(予定)
問い合わせ	学務課学務係 ☎0476-33-4704



第2次基本計画 施策1-2 こどもの可能性を伸ばす学び



拡充

世界とつながる力を育む 国際理解教育を強化

149,524 千円

+45,437千円

児童生徒の英語学習への意欲と関心を高めるため、国際理解教育に関連する事業を拡充します。日常的に生きた英語と触れ合える環境を整えることで、世界の人々と交流できるコミュニケーション能力を育てていきます。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学生対象の英語研修会(ホップ・ステップ)の実施 ● 中学生対象の海外派遣研修(ジャンプ)の実施 ● 英語コミュニケーション検定(市教育委員会独自開発)の実施 ● ALTを増員 13人(R7) + 6人(R8) = 19人
開始時期	令和8年4月～
問い合わせ	指導課指導係 ☎0476-33-4705



第2次基本計画 施策1-2 こどもの可能性を伸ばす学び

政策 2

安全・安心・健康福祉

第2次基本計画 施策2-4

誰もが自分らしくいられるまち

新規 平和の尊さを次世代へ 中学生を広島へ派遣

第2次基本計画 施策2-1

市民の命を守る災害対応

新規 **拡充** 感震ブレーカーの設置を支援 災害シナリオを見直し

第2次基本計画 施策2-3

いつでも安心して暮らせるまち

拡充 地域福祉の担い手 民生委員・児童委員の活動支援を拡充

新規 医療的ケア児(者)への支援を強化 ポータブル電源購入費を補助

拡充 地域包括支援センターの機能強化 **介護保険特別会計**

第2次基本計画 施策2-5

ずっと元気でいられるまち

拡充 スポーツでまちと人を元気に スポーツ振興事業を拡充

拡充 妊婦へのRSウイルス母子免疫ワクチンを定期接種化



新規

平和の尊さを次世代へ 中学生を広島へ派遣

4,210 千円

戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さを次の世代に語り継ぐことは、今を生きる私たちの責務です。平和への意識を深め、その思いを未来へとつないでいくきっかけとなるよう、市内の中学生を広島市へ派遣する印西市中学生平和学習派遣事業を実施します。

主な内容	市内の中学生を広島市に平和学習派遣するための事業委託費 (中学生、引率者、視察同行者などの交通費、宿泊費、保険代など) R7～R8の債務負担行為 4,114千円
対象	市内在住の中学生
派遣期間	令和8年8月4日(火)～6日(木)
問い合わせ	総務課行革推進係 ☎0476-33-4413



第2次基本計画 施策2-4 誰もが自分らしくいられるまち



新規
拡充

感震ブレーカーの設置を支援 災害シナリオを見直し

19,308 千円

+19,308千円

近年の災害教訓を踏まえ、地域防災計画を見直します。併せて、地震時の火災を防ぐ「感震ブレーカー」設置の助成を新たに開始し、市民の「自助」を支援、災害に強いまちづくりを推進します。

<p>主要内容</p>	<p>地域防災計画の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災アセスメント調査やハザードマップの作成、各種防災マニュアルの改訂などを委託 16,808千円 (R8・9年度債務負担行為44,605千円) <p>感震ブレーカーの設置促進助成【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地震の揺れを感知して、自動的に電気の供給を遮断する感震ブレーカーの設置を促進する助成金 2,500千円 助成額 1件当たり5千円上限
<p>問い合わせ</p>	<p>防災課 【地域防災計画の改訂について】危機管理室 ☎0476-33-4428 【感震ブレーカー設置の助成について】防災係 ☎0476-33-4404</p>



第2次基本計画 施策2-1 市民の命を守る災害対応



拡充

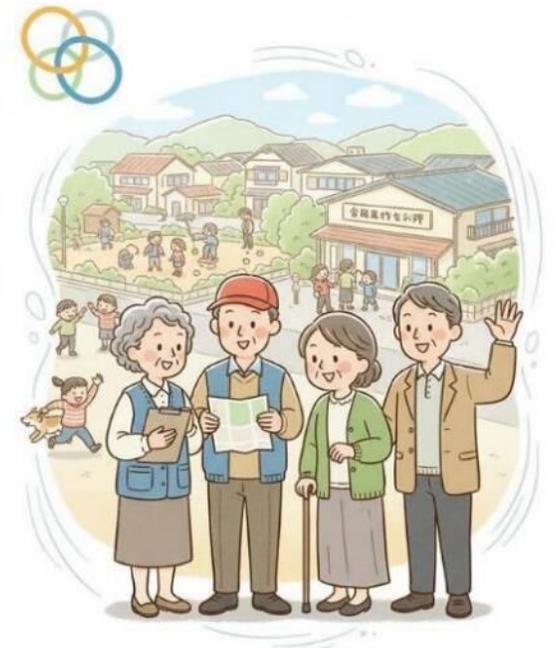
地域福祉の担い手 民生委員・児童委員の活動支援を拡充

18,627 千円

+9,125千円

地域福祉の重要な担い手である民生委員・児童委員の活動を支えるため、活動費を増額。複雑化する課題に取り組む委員の皆さんの負担を軽減し、安心して活動できる環境を整え、地域福祉の充実につなげます。

主な内容	民生委員児童委員活動に要する経費 ● 民生委員児童委員活動費を増額 地区民児協会長・副会長 月5千円から11千円へ 委員 月4,500円から1万円へ
対象	民生委員児童委員、主任児童委員
開始時期	令和8年4月
問い合わせ	社会福祉課厚生係 ☎0476-33-4513



第2次基本計画 施策2-3 いつでも安心して暮らせるまち



新規

医療的ケア児(者)への支援を強化 ポータブル電源購入費を補助

2,100 千円

在宅で暮らす医療的ケア児(者)にとって、医療機器の電源確保は命に関わる課題です。災害による停電時や外出の際の安心を確保するため、ポータブル電源の購入費用を補助する制度を新たに開始します。

主な内容	障害者自立支援地域生活支援事業 ● 医療的ケア児(者)ポータブル電源(蓄電池)を日常生活用具の対象品目に追加 2,100千円
対象	在宅で人工呼吸器、ネブライザー(吸入器)または電気式たん吸引器を使用している身体障害児(者)または難病患者
開始時期	令和8年4月
問い合わせ	障がい福祉課給付係 ☎0476-33-4639



第2次基本計画 施策2-3 いつでも安心に暮らせるまち



拡充

地域包括支援センターの機能強化

介護保険特別会計

166,437 千円

+30,211千円

シニア世代や家族の介護や福祉、医療などの総合相談窓口である地域包括支援センターに配置する専門職の負担を軽減。

本来の相談支援業務に専念できるよう、地域包括支援センターの機能強化を図ります。

<p>主な内容</p>	<p>市内5カ所の地域包括支援センター運営事業業務委託の増、地域包括支援センターシステムの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括支援センター運営事業業務委託 134,099千円 ● 地域包括的支援センターシステム委託 23,450千円
<p>開始時期</p>	<p>令和8年4月</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>高齢者福祉課包括支援係 ☎0476-33-4593</p>



第2次基本計画 施策2-3 いつでも安心して暮らせるまち



拡充

スポーツでまちと人を元気に スポーツ振興事業を拡充

33,212 千円

+2,565千円

誰もがスポーツを楽しめる環境を整えるため、各種団体への支援を強化。障がいの有無に関わらず楽しめるパラスポーツ体験教室を実施するほか、国際大会などで活躍する選手への奨励金も交付し、スポーツの振興を図ります。

<p>主要内容</p>	<p>スポーツ振興に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市スポーツ協会・少年団への支援(補助) 6,590千円 ● 市スポーツ行事補助金 4,000千円 ● パラスポーツ体験教室等の実施 1,285千円 ● 国際大会、全国大会出場者への奨励金 1,560千円
<p>開始時期</p>	<p>令和8年4月</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>スポーツ推進課振興係 ☎0476-42-8417</p>



スポーツフェスの様子

第2次基本計画 施策2-5 ずっと元気でいられるまち



拡充

妊婦へのRSウイルス母子免疫ワクチンを定期接種化

23,416 千円

+23,416千円

乳幼児が重症化しやすいRSウイルスから新生児を守るため、妊婦を対象としたワクチンを定期接種化します。

主な内容	予防接種事業 ● 妊婦に対するRSウイルスワクチンの定期接種委託費 23,416千円
対象	印西市に住民登録のある、妊娠28週(28週0日)～36週(36週6日)の人
接種費用	無料(ただし、対象の医療機関以外で接種を受ける場合は3万円を上限に市より費用を助成し、上限を超えた額は自己負担)
開始時期	令和8年4月1日
問い合わせ	健康増進課感染症予防係 ☎0476-33-3785



第2次基本計画 施策2-5 ずっと元気でいられるまち

政策 3 産業・交流

第2次基本計画 施策3-1

未来へつながる農業

拡充 草深ふるさと農園を拡張

拡充 地産地消を推進 農産物関連の補助金対象者を拡大

第2次基本計画 施策3-2

経済循環づくり

新規 先端企業誘致に向けた産業用地の創出

継続 起業前から起業後まで、幅広い起業創業支援を実施

第2次基本計画 施策3-3

新たな人流とにぎわいの創出

新規 成田市、栄町、千葉県と連携した芸術祭実行委員会を設立

30周年記念事業



拡充

草深ふるさと農園を拡張

12,297 千円

+8,264千円

市民が農業に親しめる機会を拡大するため、「草深ふるさと農園」を拡張し、農業への理解促進と魅力発信を図ります。

令和8年度は、拡張部の実施設計や測量を行い、より多くの市民が利用できる市民農園環境を作ります。

主な内容	拡張に係る経費 8,151千円 <ul style="list-style-type: none">● 草深ふるさと農園拡張実施設計業務委託● 草深ふるさと農園拡張積算業務委託● 草深ふるさと農園(拡張部)測量業務委託
開始時期	令和10年4月(拡張部開園予定)
問い合わせ	農政課農政係 ☎0476-33-4487



第2次基本計画 施策3-1 未来へつながる農業



拡充

地産地消を推進 農産物関連の補助金対象者を拡大

1,936 千円

+654千円

地産地消を推進するため、農産物の加工や販売に取り組む事業者の補助対象者を拡大し、より多くの担い手を支援します。生産者の販路拡大を後押しし、市民が地元の食に親しむ機会を創出していきます。

主な内容	印西農産物地産地消推進事業補助金 1,400千円 農産物の加工促進、販売促進、地産地消普及促進に係る対象者を拡大
対象	農産物直売所など
開始時期	令和8年4月
問い合わせ	農政課振興係 ☎0476-33-4488



第2次基本計画 施策3-1 未来へつながる農業



新規

先端企業誘致に向けた産業用地の創出

成田と東京の間という立地を戦略的に生かし、世界で戦える産業を誘致するため、産業用地適地選定及び用地活用における可能性調査を実施します。

主要内容	印西市産業用地適地選定可能性調査 ● 印西市全域を対象に、産業用地として適した候補地を選定。その区域について事業計画案の作成や起業ニーズ調査などを行い、新たな産業用地整備の事業化を検討。 R8～R9の債務負担行為 16,808千円
開始時期	令和8年9月
問い合わせ	経済振興課商工振興係 ☎0476-33-4483



第2次基本計画 施策3-2 経済循環づくり



継続

起業前から起業後まで、幅広い起業創業支援を実施

2,095 千円

起業を考えている女性を対象に、起業に必要な知識やつながりづくりを支援するため、印西市女性向け起業スクールを実施します。

また、起業後の方を対象とした、伴走支援を行うことにより、切れ目の無い支援を行います。

<p>主な内容</p>	<p>印西市女性向け起業スクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 起業等に関心を持つ女性を対象に、経営、財務、人材育成、販路開拓に関する講座を実施(託児の設置を予定) <p>起業後の伴奏支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門家相談会 ● 民間施設を活用した起業創業支援など
<p>開始時期</p>	<p>令和8年6月</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>経済振興課商工振興係 ☎0476-33-4483</p>

「起業」で自分らしい働き方を叶えてみませんか？

印西市女性向け 託児つき 起業スクール 2025 参加費 無料

9/4 木・9/11 木 9:30 ▶ 12:00
9/18 木 9:30 ▶ 13:00 ※個別相談会参加者は16:00まで
10/2 木 9:30 ▶ 12:00 ※個別相談会参加者は16:00まで
10/15 木 10:00 ▶ 12:30

場所 コスモスパレット パレットII 職員会議室 ※10/15のみコスモスパレット パレットII 芸術ホール

対象 印西市での起業に興味があり、全5回のカリキュラムに参加できる女性の方

定員 20名程度 市内外問わず募集 ※応募多数の場合は市内在住者優先で抽選

申込期間 7/16 水 ▶ 7/27 日

こんな方におすすめです
✓ 出産を機に将来の働き方を再考されている方
✓ 飲食 / 物販 / 美容 / 健康・運動 / Web デザインなどに興味をお持ちの方

詳細・申込方法は裏面をご覧ください
主催：印西市

CHECK !

第2次基本計画 施策3-2 経済循環づくり



新規

成田市、栄町、千葉県と連携した芸術祭実行委員会を設立

12,000 千円

令和8年2月6日に芸術祭実行委員会を設立。印西市として初めての試みとなる芸術祭開催に向けて動き出しました。

30周年記念事業

主な内容	この芸術祭では、各市町それぞれの地域に根ざした自然や景観、歴史・文化などの地域資源と「現代アート」の融合を通じ、地域や年齢などの属性を超えた様々な人々の交流を促進。 地域の魅力の再発見や新たな視点を生み出すとともに、各地域の課題解決や文化芸術の振興、経済の活性化を図り、未来につながる新たな価値の創出を目指す。
開催地域	旧宗像小学校や印旛沼周辺エリアを中心とする予定
開始時期	令和9年3月～5月
問い合わせ	経済振興課プロモーション推進室 ☎0476-33-4477



第2次基本計画 施策3-3 新たな人流とにぎわいの創出

政策 4

まちづくり・生活環境

第2次基本計画 施策4-1

地域の魅力を引き出すまちづくりの交通の充実

拡充 市内公共交通の利便性を向上

第2次基本計画 施策4-2

利便性の高いインフラ整備

拡充 公共インフラの長寿命化を 橋りょうの老朽化に対応

拡充 暮らしを潤す水の安心基盤づくり 家庭用浄水器購入を補助

第2次基本計画 施策4-3

豊かな自然を守りはぐくむ

拡充 高度処理型合併処理浄化槽の補助を拡大

新規 拡充 グリーンインフラを推進(仮称)いんざいLMCの設立検討



拡充

市内公共交通の利便性を向上

259,578 千円

+68,976千円

令和8年度からは、新しい印西市地域公共交通計画（R8～12）により、市民、事業者など様々な主体が相互に協力し、市が目指す多極・循環型のまちづくりにおける全体最適と個別最適を両立し、使いやすさを実感できる、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に取り組みます。

主な内容	ふれあいバス運行業務委託 241,318千円 <ul style="list-style-type: none"> ● 運行ルートが令和8年2月より1ルート増便し7ルート74便 タクシー利用助成事業 14,400千円 <ul style="list-style-type: none"> ● 利用1回につき800円のタクシー利用券を月8枚まで交付 ● 対象は、市街化調整区域在住の70歳以上、または運転免許証を持っていない65歳以上
運行ルート	ふれあいバス(東、中、西、南、布佐、印旛・本埜支所、牧の原循環)
問い合わせ	交通政策課地域交通係 ☎0476-33-4457



第2次基本計画 施策4-1 地域の魅力を引き出すまちづくりと交通の充実



拡充

公共インフラの長寿命化を 橋りょうの老朽化に対応

401,050 千円

+286,319千円

昨年、国内で発生した「道路陥没事故」では、道路交通機能や上下水道など多方面への影響が生じ、公共インフラの維持管理の重要性を再認識。

市民生活を支える道路インフラの安全性と快適性を確保していくために、引き続き、市内橋りょうの点検・補修・修繕を計画的に進めます。

定期点検状況

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 橋りょうの設計・管理委託 47,535千円 ● 橋りょうの点検・調査 207,765千円 ● 劣化状況に応じた補修・修繕工事 145,750千円
対象箇所	<ul style="list-style-type: none"> ● 橋梁補修設計 3橋(平賀干拓地先、中央南地先外) ● 橋梁の定期点検 69橋(市内全域) ● 橋梁補修工事 2橋(師戸干拓地先、萩原地先)
問い合わせ	土木管理課維持係 ☎0476-33-4670



第2次基本計画 施策4-2 利便性の高いインフラ整備



拡充

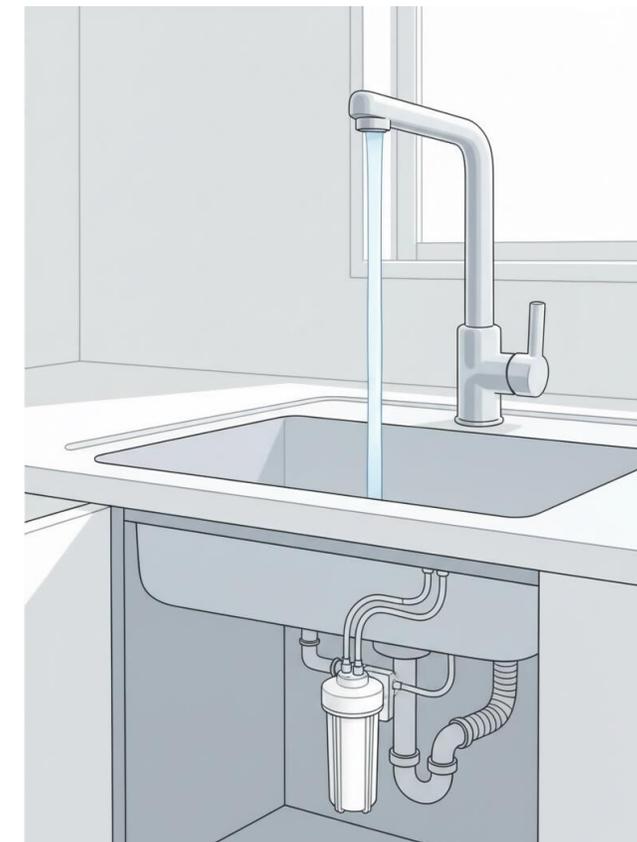
暮らしを潤す水の安心基盤づくり 家庭用浄水器購入を補助

2,250 千円

+1,350千円

水道未整備地域における生活用水の安全性と利便性の向上を図るために、汚染が確認された地下水を飲料水に使用する市民に対し、家庭用浄水器の購入費用に対する補助を実施します。

主な内容	水道未整備地域における浄水器購入補助 2,250千円 補助率を2分の1から3分の2(上限15万円)へ拡充 基準水質の対象項目を5項目から36項目へ拡大
実施時期	令和8年4月から
問い合わせ	環境保全課保全係 ☎0476-33-4495



第2次基本計画 施策4-2 利便性の高いインフラ整備



拡充

高度処理型合併処理浄化槽の補助を拡大

89,444 千円

+10,218千円

印旛沼や手賀沼などの公共用水域の水質汚濁防止に向け、生活排水対策を拡充。高度処理型合併処理浄化槽への転換に対する補助を拡充し、良好な水環境の保全と一層の改善を図ります。

※高度処理型合併処理浄化槽…通常型の合併処理浄化槽よりも、窒素やリンがより除去できる

<p>主な内容</p>	<p>高度処理型合併処理浄化槽の新設・転換に対する補助 89,444千円</p> <p>1基当たりの転換に係る補助額を増額する。 単独転換 1基当たり1,304千円※(15万円増) 汲取転換 1基当たり1,174千円※(10万円増) ※高度処理型、撤去費用、配管費用等上乗せ補助を含む5人槽の最高金額</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和8年4月から</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>環境保全課保全係 ☎0476-33-4491</p>



第2次基本計画 施策4-3 豊かな自然を守りはぐくむ



新規
拡充

グリーンインフラを推進 (仮称)いんざいLMCの設立検討

7,012 千円

+ 5,297 千円

持続的で快適な都市・生活空間の形成、気候変動への適応、生物多様性の確保等を目指し、里山保全活動団体や研究機関等と連携し、自然が持つ多様な機能を活かしたグリーンインフラに関する施策を検討・実施します。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 里山保全活動団体や研究機関等との連携によるグリーンインフラ施策の検討・実施 ● シンポジウムの開催 ● (仮称)いんざいランドスケープマネジメントセンター(LMC)の設立を検討 ● グリーンインフラの推進に係る制度等の調査・検討 ● 市民参加による公共施設での雨庭の試行的な整備
実施時期	令和8年4月～
問い合わせ	環境保全課保全係 ☎0476-33-4491



第2次基本計画 施策4-3 豊かな自然を守りはぐくむ

政策 5

住民自治・協働・行財政

第2次基本計画 施策5-1

まちづくりを市民とともに

拡充 広報戦略の推進 広報紙・市公式ホームページをリニューアル

新規 地域コーディネーター・定住促進コーディネーターを育成

第2次基本計画 施策5-2

レジリエント(しなやか)な組織・人材による行政サービスの充実

拡充 多様な人材の確保と職員の能力を最大限発揮できる職場づくり

拡充 職員の能力向上と成長を支える 職員研修の充実

新規 牧の原出張所の機能強化

第2次基本計画 施策5-3

戦略的で先進的な行財政運営

新規 スマート窓口の実現「書かない窓口」をスタート

新規 多極・循環型のまちづくりに向けた 市役所のあり方の検討

継続 ふれあいセンターいんばの改修及び複合化

新規 公民連携によるまちづくりの推進 公共資産・空間を利活用



拡充

広報戦略の推進 広報紙・市公式ホームページをリニューアル

107,325 千円

+62,902千円

市民が知りたい情報と市が届けたい情報を分かりやすく発信。広報紙や市公式ホームページのリニューアル、各SNSとの連携強化を通じて、情報の到達性と理解度を高め、双方向の情報発信を推進します。



<p>主な内容</p>	<p>広報紙編集・印刷業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広報いんざいのリニューアル(タブロイド判からA4冊子へ) <p>R8年度 41,057千円(R7~10年度債務負担行為 99,197千円)</p>	<p>市公式ホームページ再構築及び運用管理業務委託</p> <p>R8年度 29,536千円(R8~11年度債務負担行為 68,804千円)</p>
<p>リニューアル時期</p>	<p>令和8年5月号</p>	<p>令和9年3月(予定)</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>秘書広報課広報広聴係 ☎0476-42-5117</p>	

第2次基本計画 施策5-1 まちづくりを市民とともに



新規

地域コーディネーター・定住促進コーディネーターを育成

2,187 千円

地域コーディネーターは、地域活動の担い手として、令和7年度から木下地区で1名が活動を開始しています。対象地区の拡大を目指し、令和8年度からは新たなコーディネーターの育成に取り組みます。



<p>主要内容</p>	<p>コーディネーター等の育成や活動支援を行い、地域コミュニティを支える仕組みや、移住・定住の促進に向けた取り組みを検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少地域への移住定住の促進に向け、促進策について研究 ● 地域コーディネーターや定住促進コーディネーターの育成 ● 公民連携による移住定住・空き家活用に係る仕組みづくりの検討
<p>問い合わせ</p>	<p>市民活動推課活動支援係 ☎0476-33-4431</p>

第2次基本計画 施策5-1 まちづくりを市民とともに



拡充

多様な人材の確保と職員の能力を最大限発揮できる職場づくり

60,853 千円

+37,272千円

柔軟な採用手法の導入や、本市で働く魅力や意義を積極的に発信することで、多様な人材の確保につなげます。また、職員の仕事への貢献意欲や目的意識を高めるなど、職員の能力を最大限発揮できる環境づくりを進めることで、行政サービスの充実を図ります。

<p>主な内容</p>	<p>採用に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職員採用試験業務委託 ● 社会人経験者採用に要する経費 ● デジタルサイネージ等広告料 ● 職員採用PR動画等作成業務委託 <p>人事評価制度に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職員エンゲージメント向上に関する調査・改善支援業務委託 ● 人事行政アドバイザー業務委託
<p>問い合わせ</p>	<p>人事課人事研修係 ☎0476-42-5114</p>



第2次基本計画 施策5-2 レジリエント(しなやか)な組織・人材による行政サービスの充実



拡充

職員の能力向上と成長を支える 職員研修の充実

18,983 千円

+10,056千円

職員一人ひとりの能力向上と専門性の強化を図るため、各種研修や学習機会の充実を進めます。政策形成力や実務能力の向上に加え、自主的な学びを支援することで、変化する行政課題に対応できる人材育成を行います。

主な内容	職員研修の充実 <ul style="list-style-type: none">● 政策形成研修● 都市経営プロフェッショナルスクール● オンライン学習● 自主研究グループへの助成● 資格取得への助成
問い合わせ	人事課人事研修係 ☎0476-42-5114



第2次基本計画 施策5-2 レジリエント(しなやか)な組織・人材による行政サービスの充実



新規

外部専門人材の登用

48,116 千円

+48,116千円

多様化・高度化する行政需要に、迅速かつ的確に対応するため、高い専門性が求められる分野の職種について、外部専門人材を登用します。民間等の柔軟な発想や専門性を取り入れることで、組織全体の活性化と市民サービスの更なる質の向上を図ります。



<p>主な内容</p>	<p>外部専門人材の登用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成担当 ● 公民連携専門官 ● 教育DX推進室長 ● 教育DX専門官 ● 図書館長
<p>問い合わせ</p>	<p>人事課人事研修係 ☎0476-42-5114</p>

第2次基本計画 施策5-2 レジリエント(しなやか)な組織・人材による行政サービスの充実



新規

牧の原出張所の機能強化

79,055 千円

人口が増加傾向にある印西牧の原駅圏において、行政サービスの拡充を図るために、牧の原出張所をBIG HOP内のより広い区画へ移転。新たに、旅券(パスポート)の交付やマイナンバーカードに関する手続きに対応し、窓口機能の充実を図ります。

主要内容	牧の原出張所の機能強化に係る整備 ワンストップサービス ● ライフイベントに伴う一部手続きが一度に完了 ● マイナンバーカードの手続きも可能に ● パスポート発行手続きも可能に(※中央駅前出張所から移転) 書かない窓口の導入※P60参照	79,055千円
移転先	BIG HOPガーデンモール印西内(予定)	
開始時期	令和9年1月(予定)	
問い合わせ	市民課住民記録係 ☎0476-33-4442	

第2次基本計画 施策5-2 レジリエント(しなやか)な組織・人材による行政サービスの充実



新規

スマート窓口の実現 「書かない窓口」をスタート

20,721 千円

市民の利便性向上を図るため、窓口手続きにおける手続き時間の短縮や、手続き漏れの防止など、スマートで市民にやさしい窓口を実現します。

主な内容	「書かない窓口」は、来庁者が申請書を自分で記入せずに済む窓口サービス。 職員がマイナンバーカード等を用いて必要事項を確認し、聞き取り内容をもとに申請書を作成。来庁者は内容を確認して署名するだけで手続きが完了する。
対象窓口	牧の原出張所
開始時期	令和9年1月(予定) ※牧の原出張所の移転に合わせて実施
問い合わせ	DX推進課デジタル戦略室 ☎0476-33-4401



第2次基本計画 施策5-3 戦略的で先進的な行財政運営



新規

多極・循環型のまちづくりに向けた 市役所のあり方の検討

11,379 千円

多極・循環型のまちづくりにおける市役所のあり方について、未来の市役所に求められる必要な機能や規模、配置について検討を行います。

主な内容	公共施設の整備推進に要する経費 ● 市役所のあり方検討支援業務委託 【債務負担行為】令和8～9年度 14,531千円 ・令和8年度 7,370千円 ・令和9年度 7,161千円
問い合わせ	企画政策課公共施設整備推進室 ☎0476-33-4243



第2次基本計画 施策5-3 戦略的で先進的な行財政運営



継続

ふれあいセンターいんばの改修及び複合化

2,246,585 千円

公共施設マネジメントの一環として、ふれあいセンターいんばの改修及び複合化を行います。印旛公民館の移転・新設を含め、施設の適正な維持と利便性向上を図り、将来を見据えた公共施設の有効活用を進めます。

主な内容	印旛支所施設管理に要する経費 ● 印旛支所の適正な機能を維持するための施設管理業務 ● ふれあいセンターいんばの複合化改修及び工事 (印旛公民館の移転・新設による複合化)
工期	令和6年9月27日～令和9年1月15日
問い合わせ	印旛支所市民サービス課地域支援係 ☎0476-98-1111



第2次基本計画 施策5-3 戦略的で先進的な行財政運営



新規

公民連携によるまちづくりの推進 公共資産・空間を利活用

22,563 千円

公共資産や空間を有効に活用し、地域資源を活かした個性あるまちづくりを進めます。公民連携による取り組みを推進し、様々なプロジェクトに結び付き、民間の知見やノウハウを取り入れながら、持続可能な利活用を検討します。



牧の原公園



木下駅前にぎわい広場

<p>主な内容</p>	<p>公民連携に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公民連携によるまちづくりにかかる支援業務委託 20,705千円 ● 民間による公共資産や空間におけるイベント開催に際し、備品貸出などの支援 385千円
<p>各エリアのプロジェクト</p>	<p>木下エリアでのにぎわいづくり、千葉ニュータウン中央駅、牧の原駅周辺での公共資産や空間の利活用、在来地区への移住・定住などを想定しています。</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>資産経営課資産経営係 ☎0476-33-4843</p>

第2次基本計画 施策5-3 戦略的で先進的な行財政運営



継続していく主な事業

子育て・教育・文化

- 子どもに寄り添った部活動の地域移行
- 安全で安定的な学校給食の提供
- 誰もが訪れたいと思える生涯学習の学び場づくり
- 文化財の保護・保存・活用

安全・安心・健康福祉

- 認知症施策の推進と見守り支援体制の強化
- 地域包括支援センターの機能強化
- 二次救急医療機関との連携強化

産業・交流

- 印西市農業機械等導入支援補助金
- 新規就農希望者への支援
- 農地の集積化・集約化支援

まちづくり・生活環境

- 産業用地等の創出に向けた印旛中央地区等の整備促進
- 新クリーンセンターの整備促進

お知らせ



順天堂大学 箱根駅伝総合3位

目標を上回る大躍進

1月2日、3日に開催された第102回箱根駅伝に出場した順天堂大学。目標としていた「5位以内」を達成し、堂々の3位でゴール。

市へ表敬訪問

結果報告のために、市役所を訪れてくれた陸上競技部男子駅伝チームの皆さん。レースを振り返るとともに、今後の抱負を語りました。

問い合わせ先

経済振興課プロモーション推進室
☎0476-33-4477





東京ガス株式会社と連携協定を締結

市内の温室効果ガスの削減と持続可能なまちづくりを実現することを目指し、「カーボンニュートラルなまちづくりに向けた連携協定」を締結。

カーボンニュートラルの実現に向けて

地域脱炭素のモデルとなるまちづくりを先導していきけるよう、市内事業者との関係づくりや省エネルギー教育の推進など、幅広い分野において相互に連携協力を図っていきます。



問い合わせ先

環境保全課保全係
☎0476-33-4491

令和8年度採用試験を刷新 「選ばれる自治体」へ 試験体系をアップデート

印旛郡市職員採用共同試験からの離脱による 選考基準の一本化と透明性の向上

- キャリアで選べる3つの試験区分(初級、新卒・第2新卒、社会人経験者)
- 教養試験を廃止し、SPI3を導入
- 社会人経験者枠は筆記試験なし、第1次試験で「職務経歴審査」を録画面接と併せて実施

全ての試験で第1次試験では 録画面接を実施し、人物重視の徹底した、 一人ひとりの想いや経験を見極める選考

- 技術職、保健師、デジタル職の受験可能年齢を50歳まで引き上げ
- 「10月1日付け」の早期採用も選択可能
- 新卒・第2新卒枠ではグループディスカッション実施



脱・待つ採用

公務員試験のハードルを下げ
全国の優秀な人材に
選ばれる自治体へ

問い合わせ

人事課人事研修係 ☎0476-42-5114

質疑応答